



平成28年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月5日
東

上場会社名 川口化学工業株式会社 上場取引所
 コード番号 4361 URL <http://www.kawachem.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山田吉隆
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 荻野幹雄 (TEL) 048-222-5171
 四半期報告書提出予定日 平成28年7月12日 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年11月期第2四半期の連結業績 (平成27年12月1日～平成28年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年11月期第2四半期	3,035	△8.0	△53	—	△57	—	△96	—
27年11月期第2四半期	3,299	△1.0	16	△51.8	22	△26.6	△14	—

(注) 包括利益 28年11月期第2四半期 △111百万円(—%) 27年11月期第2四半期 △5百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年11月期第2四半期	△7.96	—
27年11月期第2四半期	△1.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年11月期第2四半期	5,437	1,390	25.6
27年11月期	5,722	1,502	26.3

(参考) 自己資本 28年11月期第2四半期 1,390百万円 27年11月期 1,502百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年11月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年11月期	—	0.00	—	—	—
28年11月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年11月期の連結業績予想 (平成27年12月1日～平成28年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,400	△3.0	50	—	50	—	△30	—	△2.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 新規 一社 、 除外 一社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年11月期2Q	12,200,000株	27年11月期	12,200,000株
② 期末自己株式数	28年11月期2Q	20,888株	27年11月期	20,380株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年11月期2Q	12,179,112株	27年11月期2Q	12,181,251株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、海外では中国で緩やかな減速が続き、アジア経済において弱さがみられるものの、東南アジア各国で持ち直しの動きもあり、安定的な成長が見込まれます。国内の景気は、個人消費はおおむね横ばいとなっているものの、設備投資は持ち直しの動きも見られ、全体では緩やかな回復基調が続きました。

しかしながら、当社と関係する自動車関連業界において、国内の自動車生産台数は当第2四半期においても前年を下回る状況が継続したことから、関連業界の生産活動も弱い動きで推移しました。

このような状況の下、当社グループは新経営3ヶ年計画を軸とした既存事業の拡販、新規製品の開発推進、内外の新規顧客の開拓に対する活動を強化しました。新規受託製品の製造販売に注力するとともに、海外では中国や東南アジアを中心とする積極展開を継続し、新規顧客の開拓を行いました。また、原油ナフサ価格の下落に対し主要原料の原価低減を図るとともに、原材料の供給元の探索を積極的に行い、生産の適正化および在庫管理を徹底し生産合理化を行いました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は30億35百万円（前年同期比8.0%減）、営業損失は53百万円（前年同期は16百万円の利益）、経常損失は57百万円（前年同期は22百万円の利益）となりました。また、保有する福利厚生施設の一部につき減損損失を計上したため、親会社株主に帰属する四半期純損失は96百万円（前年同期は14百万円の損失）となりました。

(部門別の概況)

<ゴム薬品>

ゴム薬品の分野は、国内につきましては、国内自動車生産をはじめ、タイヤ・合成ゴム生産におきまして、当第2四半期においても総じて前年割れの状態が継続しました。このことから、工業用ゴム製品向けをはじめタイヤ、合成ゴム向け薬品についても販売数量が伸びず、前年同期比で売上が減少しました。

輸出につきましては、東南アジア経済がやや弱含みで推移したことから販売減となった品目があったものの、引き続き主力商品を中心にこの地域の受注の拡大に努力した結果、前年同期比で販売数量を伸ばしました。しかしながら、当第2四半期も為替がさらに円高に進行したこととから、売上については前年同期比で減少となりました。

この結果、この部門合計の売上高は19億13百万円（前年同期比5.2%減）となりました。

<樹脂薬品>

樹脂薬品の分野は、当社需要家に対し積極的に販売活動を行いました。国内外のアクリル酸・アクリル酸エステルの生産が低調で推移したことと、輸入品との競合による主要製品の販売減の影響により、国内の売上は減少しました。

輸出部分におきましては、販売拡大のため新規顧客の開拓ならびに既存顧客との交渉を行いました。中国をはじめとする既存顧客の稼働が低調で推移するとともに、為替が円高で推移し、他国企業との競合が一層激化したことから売上が減少しました。

この結果、この部門合計の売上高は3億54百万円（前年同期比19.8%減）となりました。

<中間体>

界面活性剤中間体は、顧客の生産が復調したことから前年比で売上が増加しました。染料中間体は、その原材料となる関連製品の需要の減少の影響ならびに主要品目の販売が低調だったことから、前年同期比で売上が減少しました。農薬中間体は、主要品目の顧客の受注減により、全体として売上を減らしました。医薬中間体・機能性化学品は、品目により増減がありましたが、主要品目で売上増となり、前年同期比で売上が増加しました。

この結果、この部門合計の売上高は3億7百万円（前年同期比7.3%減）となりました。

<その他>

環境用薬剤は、当社納入先の需要に合わせ生産を行いました。当第2四半期に入り年度末の在庫調整影響もあり、前年同期比で売上が減少しました。潤滑油向けは、国内海外向けとも販売が堅調であったことから、前年同期比で売上を伸ばしました。新規用途向けは、新規商品の販売を開始しましたが、品目により売上に増減があり、主要製品において当第2四半期の販売が前年同期比で減少となったことから、前年同期比で売上が減少しました。

この結果、この部門合計の売上高は4億59百万円（前年同期比9.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産につきましては54億37百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億84百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が1億33百万円、受取手形及び売掛金が88百万円及び有形固定資産その他が53百万円減少したことによります。

負債につきましては40億46百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億72百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が1億46百万円、流動負債その他の未払費用が40百万円減少したことによります。

純資産につきましては13億90百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億11百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金が96百万円減少したことによります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1億33百万円減少（前年同期は1億5百万円の増加）し、5億28百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、売上債権の減少、退職給付に係る負債の増加等による資金の増加に対し、仕入債務の減少等による資金の減少により0百万円の支出（前年同期は73百万円の収入）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、有形固定資産の取得による支出等により1億6百万円の支出（前年同期は57百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、長期借入れによる収入に対し、借入金の返済等による支出により23百万円の支出（前年同期は87百万円の収入）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年11月期の連結業績予想につきましては、平成28年6月23日発表の「平成28年11月期通期業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

(4) 追加情報

(法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正)

「所得税法等の一部を改正する法律」(平成28年法律第15号)及び「地方税法等の一部を改正する等の法律」(平成28年法律第13号)が平成28年3月31日に公布されたことに伴い、平成28年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率等の引下げ等が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は前連結会計年度の計算において使用した32.34%から平成28年12月1日に開始する連結会計年度及び平成29年12月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異等については30.86%に、平成30年12月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異等については、30.62%となります。

この税率変更により、繰延税金資産の金額(繰延税金負債の金額を控除した金額)が7,324千円減少し、法人税等調整額が7,642千円、その他有価証券評価差額金が317千円それぞれ増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	662,037	528,644
受取手形及び売掛金	2,026,258	1,937,662
商品及び製品	748,330	690,568
仕掛品	246,449	331,029
原材料及び貯蔵品	280,111	257,380
その他	14,987	15,966
貸倒引当金	△2,026	△1,939
流動資産合計	3,976,148	3,759,312
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	743,914	732,867
その他(純額)	742,953	689,506
有形固定資産合計	1,486,867	1,422,373
無形固定資産		
その他	8,147	7,207
無形固定資産合計	8,147	7,207
投資その他の資産		
その他	252,445	250,370
貸倒引当金	△1,515	△1,515
投資その他の資産合計	250,930	248,855
固定資産合計	1,745,945	1,678,436
資産合計	5,722,093	5,437,748
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,048,009	901,840
短期借入金	1,240,000	1,060,000
1年内返済予定の長期借入金	731,244	528,044
未払金	205,698	212,129
未払法人税等	2,219	4,215
未払消費税等	39,614	10,791
その他	180,687	147,626
流動負債合計	3,447,472	2,864,647
固定負債		
長期借入金	273,347	639,325
役員退職慰労引当金	73,529	62,282
退職給付に係る負債	277,552	337,128
その他	147,793	143,546
固定負債合計	772,222	1,182,282
負債合計	4,219,695	4,046,930

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	610,000	610,000
資本剰余金	58,437	58,437
利益剰余金	804,899	707,908
自己株式	△7,474	△7,550
株主資本合計	1,465,863	1,368,795
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,329	12,246
為替換算調整勘定	13,205	9,775
その他の包括利益累計額合計	36,534	22,022
純資産合計	1,502,397	1,390,818
負債純資産合計	5,722,093	5,437,748

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年12月1日 至平成28年5月31日)
売上高	3,299,821	3,035,710
売上原価	2,858,835	2,645,447
売上総利益	440,985	390,263
販売費及び一般管理費	424,310	444,223
営業利益又は営業損失(△)	16,674	△53,960
営業外収益		
受取利息	284	308
受取配当金	365	436
不動産賃貸料	4,122	4,122
受取補償金	4,775	—
貸倒引当金戻入額	234	87
その他	5,164	3,183
営業外収益合計	14,947	8,137
営業外費用		
支払利息	8,882	7,032
為替差損	—	4,331
その他	735	312
営業外費用合計	9,618	11,676
経常利益又は経常損失(△)	22,003	△57,499
特別損失		
固定資産除却損	4,288	437
減損損失	—	51,112
特別損失合計	4,288	51,549
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	17,714	△109,049
法人税、住民税及び事業税	680	620
法人税等調整額	31,475	△12,677
法人税等合計	32,155	△12,057
四半期純損失(△)	△14,441	△96,991
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△14,441	△96,991

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年12月1日 至平成28年5月31日)
四半期純損失(△)	△14,441	△96,991
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,498	△11,082
為替換算調整勘定	815	△3,429
その他の包括利益合計	9,313	△14,511
四半期包括利益	△5,127	△111,502
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△5,127	△111,502
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年12月1日 至平成28年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	17,714	△109,049
減価償却費	163,654	145,858
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△234	△87
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△40,609	59,575
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△10,000	—
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△1,086	△11,246
受取利息及び受取配当金	△650	△745
為替差損益(△は益)	△448	△135
支払利息及び社債利息	8,882	7,032
固定資産除却損	4,288	437
減損損失	—	51,112
売上債権の増減額(△は増加)	83,740	88,595
たな卸資産の増減額(△は増加)	28,139	△4,086
仕入債務の増減額(△は減少)	△127,154	△139,621
未払消費税等の増減額(△は減少)	4,901	△26,163
その他	△47,571	△54,705
小計	83,566	6,771
利息及び配当金の受取額	650	745
利息の支払額	△8,853	△7,054
法人税等の支払額	△2,074	△526
営業活動によるキャッシュ・フロー	73,288	△64
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△60,053	△109,727
投資有価証券の取得による支出	△1	—
その他	2,956	2,796
投資活動によるキャッシュ・フロー	△57,098	△106,931
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	170,000	△180,000
長期借入れによる収入	—	380,000
長期借入金の返済による支出	△39,786	△217,222
リース債務の返済による支出	△6,016	△5,611
自己株式の取得による支出	△215	△76
配当金の支払額	△36,363	△194
財務活動によるキャッシュ・フロー	87,618	△23,104
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,263	△3,293
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	105,073	△133,393
現金及び現金同等物の期首残高	476,283	662,037
現金及び現金同等物の四半期末残高	581,356	528,644

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループにおいては、有機化学工業薬品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。